

～ITや便利グッズ活用で生活支援～

もの忘れ対処塾 by Zoom

兼：もの忘れサポーター養成講座 裏面参照

認知症に前向きに備えよう！

高齢になるともの忘れは避けられません。しかし、最近のもの忘れを防ぐ日記帳やメモ帳、服薬時間を教えてくれるIT機器や、財布などの探し物発見器など多くの便利グッズが出てきました。



これらの便利グッズとその活用を2日間にわたり学び、もの忘れがあっても自立した生活が続けられるようにします。皆で生活上の知恵や工夫も楽しく話し合います。これらのITや便利グッズAssistive Technology と言います。

日時 2023年2月 4日(土)
2月11日(土)
13時～15時半
※両日参加が原則です

内容 2日間の内容は裏面参照

対象 医療・介護関係者、ご本人・ご家族、認知症サポーター、一般市民など

受付人数 先着80名

参加費 1,000円 振り込み代はご負担ください

申し込み方法 申し込み締め切り 1月31日

下記URLまたは、右のQRコードから申込フォームに移動し、必要事項を記載の上お申し込みください。

<https://forms.gle/wibBkBGpxCDxRBjr9>



申し込み後、振込方法についてメールで通知しますので、参加費をお振込ください。同時にZoomのURLもお伝えします。当日、そこからご参加ください。Zoomの接続方法の練習時間も設けます。

講師



安田 清 言語聴覚士(博士)
大阪工業大学客員教授 京都府立医科大客員講師 神戸大学
非常勤講師斎賀医院(市原市)
元千葉ろうさい病院リハビリ科もの忘れ外来に従事
著書「MCI・認知症のリハビリテーション: Assistive Technology
による生活支援」「新記憶サポート帳」エスコアール社など

主催 もの忘れサポーター養成講座実行委員会

共催 京都府立医科大学附属認知症疾患医療センター

お問い合わせは 以下へ
yasukiyo.12@outlook.jp

もの忘れ対処塾の内容と進め方

以下の便利グッズやその活用法、認知症への備えなどを2日間で学びます。

日程	章	テーマ
1日目	1 2	認知症の話、予防説の検証や各種治療法の医学的信頼性
	3	対認知症準備活動、生活工夫集、見守り協定書等
	4	火元・水回り、見守り、金庫、鍵などの安心安全グッズ
	5	服薬器、もの探し器、持ち忘れ防止器、音声案内器など
	6	もの忘れ・認知症の人向けの専用日記帳、暦、伝言板
	7	すぐに書き込めるなどの各種もの忘れ対応メモ
	2日目	8
9		もの忘れを防ぐベスト、ワイシャツ、カバンなどの服飾類
10		パソコン、タブレットによるテレビ電話や会話支援
11		スマホの活用、これからのハイテク機器
12		音楽療法、回想法、人形、認知症支援犬など
13		もの忘れサポーターに期待される活動と社会的支援

もの忘れサポーターとは？ (Memorysupporter.jimdofree.com 参照)

この会で習った便利グッズや活用法を地域の高齢者などに伝達することが期待される、初めての資格です。終了後、希望者はもの忘れサポーター3級の検定試験を無料で受験できます（メールで送られた質問用紙を資料をみながら回答）。

より深く学びたい方は安田清：「MCI・認知症のリハビリテーション：Assistive Technologyによる生活支援」と、亀山裕美：「家族の認知症ケアがわかる本」を（ともにもの忘れサポーター2級試験の参考書）

まとめ

高齢になるともの忘れや認知症は必ず出てきます。前向きに対処法を知ること、シニアライフが楽しく過ごせるようにしましょう。履修者はその知識を高齢者に広げてくれることが期待されます。ITや便利グッズによるもの忘れ対処法の講座は他にない試みです。お誘いあわせの上、お気軽にご参加ください。